会議議事録

|  |  |
| --- | --- |
| 事業名 | 平成３０年度「職業実践専門課程等を通じた専修学校の質保証・向上の推進」Ⅰ．教職員の資質能力向上の推進　（ⅱ）教職員研修プログラムの構築事業 |
| 代表校 | 一般社団法人全国専門学校教育研究会 |

|  |  |
| --- | --- |
| 会議名 | 第3回学習評価研修WG |
| 開催日時 | 2018年11月5日 14時〜17時 |
| 場所 | リファレンス駅東ビル 3F H-5 |
| 出席者 | 委員：岡村慎一、植上一希、佐藤昭宏、瀧本知加、近藤賢宏、森佳奈枝請負業者：飯塚正成 |
| 議題等 | 〇学習評価研修基礎編の目的・内容・構成について◆プログラムの対象　専門学校の専任教員であり、新人から中堅層を想定する。◆到達目標【関心意欲・態度】・適切な授業設計・実施・評価・改善をおこなおうとする志向性を有する。・学生の学習の努力を方向付ける指向性を有する。【知識・理解】・教育評価の基本的な意味・効果について理解している。・教育評価の初歩的な概念等について、知識として押さえている。・専門学校教育の特性（職業教育）における評価の困難さと意義を理解している。【技能・思考】・教育評価の初歩的な概念並びに観点から、授業改善や学習評価についての専門学校教育の事例について考察することが出来る。◆研修時間　概ね3時間程度を予定◆プログラム内容①評価とはそもそも何であるか？　事前的評価、形成的評価、総括的評価、外在的評価等の理解②評価はなぜ必要なのか？　評価の目的と役割を理解する。③評価について専門学校教員に学んでほしい４つの大きな理由　・一般の学校教員なら、養成課程や研修等で習得していく、授業づくりや学生の評価という基本的な知識・スキルを身に付けてほしい。　・職業領域の専門家が多いために生じるメリットとデメリットを理解してほしい。　・専門学校教育の自由度の高さ、基準の不明確さ、職業教育の難しさ、実習等の設計、教育増の設計等を身に付けてほしい。　・専門学校教育の質保証・向上が政策的にも重視されている。教員の資質向上のための重要なポイントとして「評価」があることを理解してほしい。〇今後のスケジュール　12月5日14：00～17：00　リファレンス駅東 |

以上